

原爆の惨禍から復興した広島を繋ぐ新しい平和教育の構築 基調提案

広島県学校教職員連盟

前略 広島県学校教職員連盟では、この夏の香川大会で新しい平和教育の構築を提案したく準備を進めていましたが、コロナ禍の中、中止となり残念な状況になりました。そこで来年度の栃木大会に提案をスライドするとともに、研究基調提案部分を web 上に公開したいと思っております。是非一読いただき、栃木大会でご意見を賜りたいと思っております。敬具

広島県学校教職員連盟では普遍的な教育を基に、あたらしい考えに立った教育を模索中です。その一つは平和教育です。なぜ、平和教育を取り上げるのかですが、広島は人類史上初めて核攻撃の惨禍に合い、長崎とともに核の恐ろしさを体験した唯一の県だからです。そこには原爆を受けたことで人間の尊厳を傷つける差別が発生しました。私たち広教連の仲間も原爆にあい、二世で生まれている教職員も多く、原爆による差別事象とは無縁ではありませんでした。そこで私たち広教連は原爆の事実と、なぜ、日本が戦争を行ったのかという事実を教え、差別のない平和を希求することの大切さを平和教育を通して教えていくことが責務であると考えています。広教連のある一人は、父は呉海軍工廠で大和の建造に従事した経験を持ち、呉にいたため直接の原爆の惨禍は受けませんでしたが、父母を探しにすぐに広島に帰ったそうです。母は広島の小学校で全身やけどを負い苦しみながら家に帰ってきた方たちを集めた救護所（落合小学校屋体）で看護をしたそうです。このことによってどちらも放射能によって体に異変が起き、言われぬ差別を受けたそうです。広教連のメンバーの多くはこのような苦しみを味わった者も多くいることから、平和教育に関心を寄せているわけです。

広島市行政も原爆の惨禍を風化させない平和教育の取り組みを行っています。この平和教育の活動は一人一人が生き証人の思いを後の世の中に語り、原爆の惨禍を伝えていく伝承を主としています。広教連も伝承を図るため、広島市に今でも実在する2つの石碑（平和都市記念碑・大亜細亜悲願之碑）をもって、伝承を主とした新しい平和教育の構築を目指すことにしました。

そこで広教連が考える新しい平和教育は「繋ぐ」がテーマだと思っています。「繋ぐ」には正確に事実を伝えることが必要になってくると思います。広島市教委員会が発行している平和ノートには、昭和20年8月6日8時15分に広島市上空で一発の原子爆弾が炸

裂し、瞬間にして最大16万人の方がなくなった事実を伝えています。この事実を人類に伝承させることはとても大切なことだと思います。しかし、「繋ぐ」ためには「なぜ」「どうしてアメリカは核攻撃をしたのか。」という理由を知ることが必要だと思います。事実は理由（歴史科学的認識）の意味を含むことによって正確に将来に伝えられるのです。

東京裁判での判事の一人にインドのパール判事がおられました。パール判事はなぜ、日本が太平洋戦争を行ったのかという理由を東京裁判で述べられています。戦争の責任はすべて日本にあるとする勝利国判事の裁定に対して、あの当時、全世界を植民地にしていた列強国の中で日本が行った戦争は自衛的側面があるということを述べられ、このことを根底に入れた判決をすべきであると冷静に伝えられました。なぜ、日本が戦争を行ったのかという理由を述べられたのです。

パール判事は焼け野原になっていた広島を街を訪れられ、原爆死没者慰霊碑「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませんから」という碑文にとっても憤られました。パール判事が憤られた理由はアメリカが人類史上初めて、民間人が住む都市に向かって核攻撃をしたという事実となぜ、アメリカは日本に核攻撃をしたのかという理由がこの碑文では読み取れないではないかということと言われたのです。事実、アメリカによって原子爆弾が落とされたということは刻まれてありません。



広島市の平和公園から川一本隔てたところに、本照寺という寺があります。そこにパール判



事がインドから贈られたメッセージが碑文として伝えられています。この碑文にはなぜ、日本が戦争をしたのかという理由が書かれています。パール判事の碑文は大亜細亜悲願之碑として残されています。「激動し変転する歴史の流れの中に 道一筋につらなる幾多の人たちが 万斛の思いを抱いて死んでいった。しかし、大地深

く打ち込まれた 悲願は消えない 抑圧されたアジア解放のため その厳粛なる誓いにいのちを捧げた 魂の上に幸あれ ああ 真理よ あなたは我が心の中に在る その啓示に従って我は進む」と刻まれています。

パール判事の碑文には日本がなぜ戦争に突入したのかという理由が刻まれています。アジアに押し寄せてくる列強に日本は立ち向かったと教えてくれています。そして、立ち向かったことで、原爆投下などの多大な戦火にみまわれ、日本人の多くの犠牲で平和が築かれたのだと教えてくれています。

昭和初期の世界はアメリカ・イギリス等の列強により、アジア・アフリカの大部分が植民地となり、白人種が黄色・黒色人種を従わしていた時代で、アジア・アフリカの独立国としては清国(中国)・日本・タイ・エチオピア等の少数国でした。イギリスに植民地にされていたインドのパール判事にとって、日本が行った



大亜細亜悲願之碑

戦争はアジアを列強の植民地から解放し、国を守るという自衛的側面があったことを後世に伝えています。その後、アジア・アフリカの国々は、独立戦争を起こし、インドはイギリスの100年余りに上る植民地支配を脱し、独立を勝ち取りました。

日本が行った戦争は南方の資源獲得のための侵略的側面とアジア解放という大義名分にあり、その目的の遂行によりたくさんの命が国家のために奪われたことは事実です。私たち今を生きる者たちは、未来において戦争という悲劇が繰り返さないために、いろいろな角度から史実を検証していく必要があると思います。

本照寺の地図



【広島平和都市記念碑】と【大亜細亜悲願之碑】の2つ碑文を通して、平和の尊さを考えよう

資料1 広島平和都市記念碑について

昭和16年12月8日日本によるアメリカハワイ真珠湾の攻撃により、大東亜（太平洋）戦争が始まり、昭和20年東京・大阪などの都市への焼夷弾投下広島・長崎への原子爆弾等により、8月15日に日本国はアメリカを

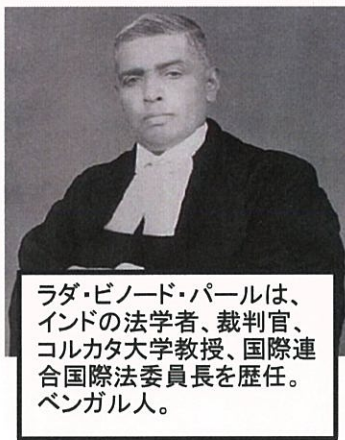


広島平和都市記念碑

中心とする連合国に降伏しました。原子爆弾を受けた広島には広島平和都市記念碑「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」という碑文が建設されました。この碑文の意味はすべての人びとが原爆犠牲者の冥福を祈り、戦争という過ちを再び繰り返さないことを誓う言葉であるされています。未来において戦争の悲劇を繰り返さない決意が感じられます。この決意を未来の人々に伝え繋いでいくためにも戦争を行った理由を調べ語り繋いでいくことが必要ではないかと思えます。

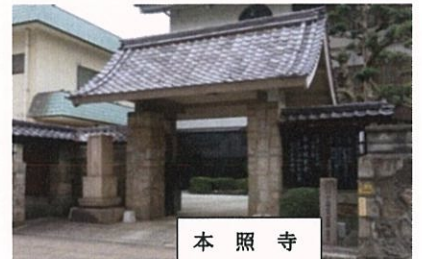
資料2 大亜細亜悲願之碑について

ではなぜ、日本は連合国と日本人(兵隊・市民)約240万人の犠牲を払い、人類史上初めて核爆弾の攻撃を受け、焼け野原になるまでの戦争をしたのでしょうか。その理由をはっきりとさせるため、連合国は13人の判事(裁判官)



ラダ・ビノード・パールは、インドの法学者、裁判官、コルカタ大学教授、国際連合国際法委員長を歴任。ベンガル人。

を世界から集め、日本が戦争を行った理由について審議し東京裁判を行いました。その中の一人にアジア代表インドの裁判官であるパール判事がおられました。パール判事は日本が行った大東亜戦争の責任はすべて日本にあり、侵略戦争であったとする勝利国判事の裁定に対して、あの当時、全世界を植民地にしていた列強国の中で日本が行った戦争は侵略戦争でなく自衛的側面があり、このことを根底に入れた採決をすべきであると冷静に伝えられました。そして、パール判事は母国インドから戦争で焼け野原になっている日本人にメッセージを送られました。現在そのメッセージは広島市にある本照寺という寺に



本照寺

碑文として残っています。その碑文は大亜細亜悲願之碑と呼ばれ「激動し変転する歴史の中に道一筋につらなる幾多の人たちが万斛の思いを抱いて死んでいった。しかし、大地深く打ち込まれた悲願は消えない 抑圧されたアジア解放のため その厳粛なる誓いにいのちを捧げた魂の上に幸あれ ああ 真理よ あなたは我が心の中に在る その啓示に従って我は進む」と刻まれています。

資料3

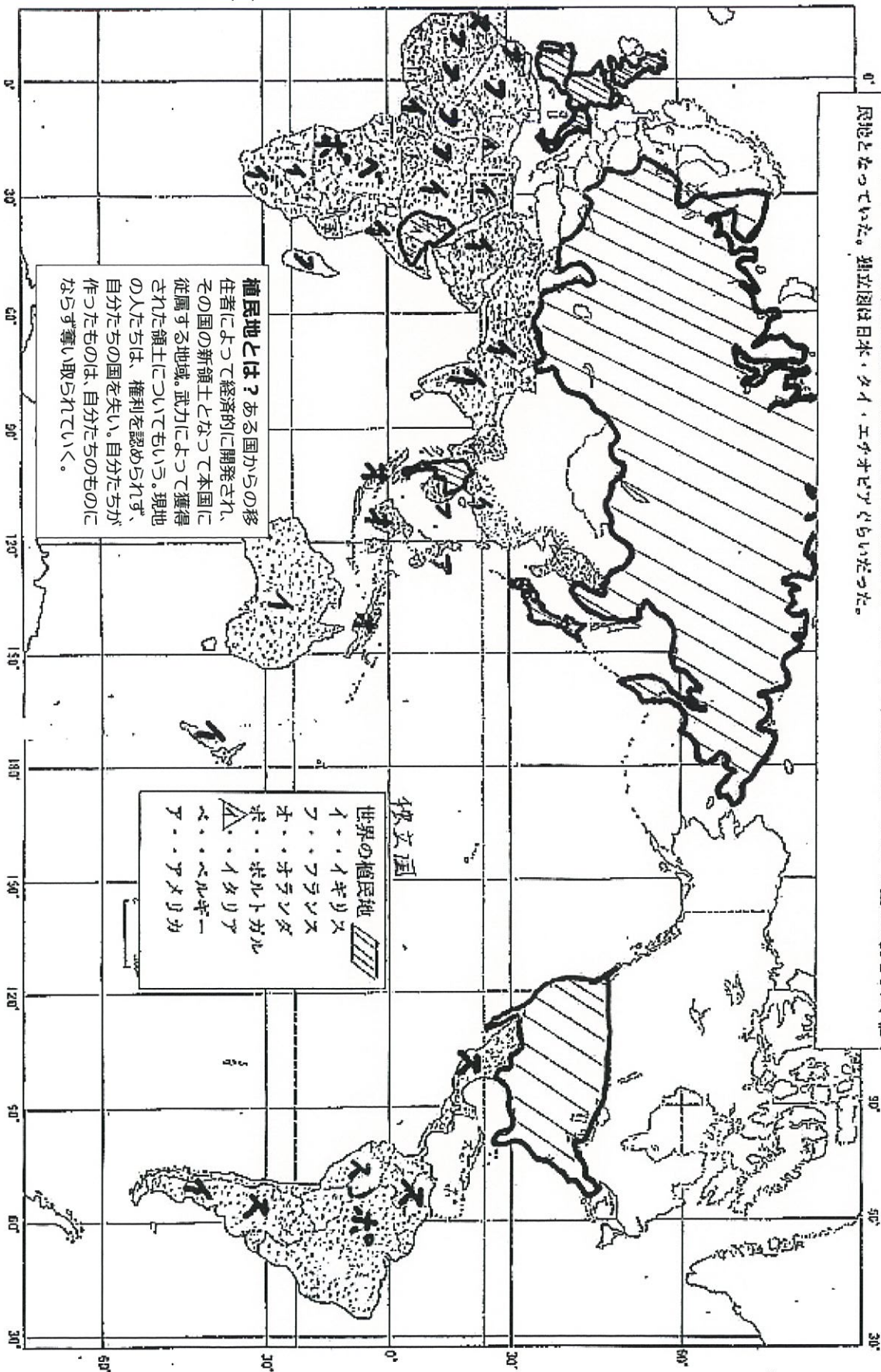
昭和初期の世界はアメリカ・イギリス等の列強により、アジア・アフリカの大部分が植民地となり、白人人種が黄色・黒色人種を従わしていた時代で、アジア・アフリカの独立国としては清国(中国)・日本・タイ・エチオピア等の少数国でした。イギリスに植民地にされたインドのパール判事にとって、日本が行った戦争はアジアを列強の植民地から解放し、国を守るという自衛的側面があったことを後世に伝えています。その後、アジア・アフリカの国々は、列強に独立戦争を起し、インドはイギリスの100年余りに上る植民地支配を脱し、独立を勝ち取りました。



大亜細亜悲願之碑

昭和初期の世界植民地地図

1492年コロンブスが大陸を発見して以来、世界のほとんどがスペインやイギリスなどのヨーロッパの国々に侵略され、植民地となっていた。独立国は日本、タイ、エチオピアくらいだった。



植民地とは？ ある国からの移住者によって経済的に開発され、その国の新領土となつて本国に従属する地域。武力によって獲得された領土についてもいう。現地の人たちは、権利を認められず、自分たちの国を失い、自分たちが作ったものは、自分たちのものにならず奪い取られていく。

- 独立国
- 世界の植民地
- イギリス
 - フランス
 - オランダ
 - ポルトガル
 - イタリア
 - スペイン
 - アメリカ

- 1 日 時 令和3年 5月10日（月） 第5校時
- 2 学 年 第6学年1組 35名（男子20名 女子15名）
- 3 授業名 平和都市広島を探ろう
- 4 資料名 ・「広島平和都市記念碑と大亜細亜悲願之碑の2つの平和に関する碑文を通して、平和の尊さを考えよう（資料1）」 ・平和教育学習プリント
- 5 主題設定の理由

(1) 平和学習に取り組む意義

なぜ学校で、平和教育に取り組むのか、それは日本国民に平和がもたらしている現代の社会を永遠に享受し続けてほしいという願いがあるから。私自身が原爆二世で生まれてきた経緯があり、父は呉海軍工廠で大和の建造に従事した経験を持ち、呉にいたため直接の原爆の惨禍は受けなかったが、父母を探しにすぐに広島に帰ったため、放射能を浴びる。広島の小学校で全身やけどを負い苦しみながら家に帰ってきた方たちを集めた救護所（落合小学校屋体）で母は看護をした。このことによってどちらも放射能によって体に異変が起きた。戦後75年経ったが、その放射能は今でもたくさんの人々を苦しめている。そこで広島市は原爆の惨禍を風化させない取り組みを行政が行っている。この活動を一人一人が生き証人の思いを後の世の中に語ることが私たちの使命であると実感している。そこで私が考える新しい平和教育は「繋ぐ」がテーマだと思う。「繋ぐ」には正確に事実を伝えることが必要になってくる。広島市教委が発行している平和ノートには、昭和20年8月6日8時15分に広島市上空で一発の原子爆弾が炸裂し、瞬間にして最大16万人の方がなくなった事実を伝えている。この事実は人類にとって忘れてはならないことである。しかし、「繋ぐ」ためには「なぜ」「どうしてアメリカは核攻撃をしたのか。」という理由を知ることが必要だと思う。事実は理由（歴史科学的認識）の意味を含むことによって正確に将来に伝えらことができると思う。

(2) 児童・生徒の実態調査

本資料を総合的な学習の時間に授業を行うには、直接的な戦場・戦争体験を抛り所としない現代の児童・生徒がどこまで平和という概念を理解し、興味を持っているか、調査する必要がある。平和に対するアンケートを平和学習プリントから、まず平和とはどんなものであるかを聞き、今の日本は平和であるかを問うことで、平和に対する興味・関心度を図ることができる。

※75年前に戦争をしたことを知っているか	知っている90%	知らない10%
※なぜ、日本は戦争をしたのか知っているか	知っている20%	わからない80%
※広島平和都市記念碑を知っているか	知っている90%	わからない10%
※大亜細亜悲願之碑を知っているか	知っている0%	わからない100%

(3) 指導にあたって

平和学習プリントから75年前に日本が世界を相手に戦争をし、広島・長崎が世界最初の核爆弾の惨禍にあった事実を通して、広島市に残る2つの碑文が後世に何を語っているのかを考える。まず、広島平和都市記念碑から「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」の文章からどんな思いが表されているのかを考えさせる。又、パール判事が日本人に送ってくれた大亜細亜悲願之碑から「抑圧されたアジア解放のため」という文章がどんな意味を持つのか考えさせ、パール判事の思いを知る。また、どうして日本が戦争をしたのかを考えるきっかけにしていく。

6 本時のねらい

「児童生徒が平和をどうとらえているか平和学習プリントを通して、実態をつかむ。広島平和都市記念碑と大亜細亜悲願之碑の2つの碑文が広島市にあることを知り、平和に関心を持つ心情を育てる。」

7 準備物

- ・平和教育学習プリント
- ・資料1・2「広島平和都市記念碑と大亜細亜悲願之碑の2つの平和に関する碑文を通して、平和の尊さを考えよう」

8 指導計画 2時間

- 1時限目・・・平和学習プリントを通して、広島市にある2つの碑文を知り、意味を考える。（本時）
- 2時限目・・・2つの碑文の意味を通して、碑文が何を伝えているか考える。

9 本時の展開

段階	学習活動と主要発問	★予想される児童の反応 ☆指導上の留意事項
導入	<p>※平和をどうとらえているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和とはどんなものでしょうか ・今に日本は平和ですか。 ・75年前日本は、たくさんの兵隊さんや原爆などでなくなる戦争をしたことを知っていますか。 ・なぜ日本は戦争をしたのか知っていますか <p>※本時のねらいをつかむ 「資料1・2の広島平和都市記念碑と大亜細亜悲願之碑の2つの平和に関する碑文を通して、平和の尊さを考えよう」</p>	<p>☆平和に関して興味・関心を育てる」</p> <p>☆どのくらいの児童生徒が75年前日本が戦争をしていた事実を知っているか調査する。</p> <p>☆理由が答えることができる児童生徒に発言をさせる。</p> <p>★戦争をしていたことは、知っている。</p> <p>★日本がアジアを侵略したから。</p> <p>★わからない</p> <p>☆平和教育学習プリントを配布する</p> <p>☆資料1・2を配布する。</p>
展開	<p>※碑文とはどんなものなのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・碑文とはどんなものか知っていますか。 <p>※資料1を読み、2つの碑文はどんなメッセージを後世の人に伝えているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和に関する石碑が2つあります。一つは平和公園にあります。なんとという石碑か知っていますか。 ・もう一つは本照寺の大亜細亜悲願之碑を知っていますか。 <p>※広島平和都市記念碑に込められたメッセージを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市は広島平和都市記念碑を通して、人々にどんなことを伝えたいのでしょうか。 <p>※平和教育学習プリントを読み、大亜細亜悲願之碑をおくったパール判事のことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パール判事とはどんな人なのでしょうか。 ・パール判事は何のために、日本に来たのでしょうか。 <p>※東京裁判について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京裁判とは、どんなことを目的とする裁判だったのでしょうか。 	<p>☆碑文とはどんなものかととらえさせます。</p> <p>☆実際の石を提示し、石に書かれた文字を想像する。</p> <p>★墓石など</p> <p>☆なぜ、石に文字を刻むのか考えさせる。</p> <p>☆後世の人たちに語り繋いでいくための教え・教訓としてとらえさせる。</p> <p>☆平和公園を想起させる。</p> <p>★知らないと答える児童生徒が多いと予想される。</p> <p>★後世の人々に戦争の悲惨さを語り継いでいくために。</p> <p>★戦争という過ちを二度と繰り返さないために。</p> <p>★日本が戦争をしないために。</p> <p>☆パール判事がどんな人なのか説明を受ける。</p> <p>☆東京裁判についての知識を得させる</p>
終末	<p>※本時のまとめをし、次時の予告を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パール判事の石碑はどんなメッセージが込められているのか、次に時間に考えましょう。 	<p>☆時事にパール判事からおくられた石碑にはどんなメッセージが書かれているのか考えることを予告する。</p>

板書案

2つの碑文

石に文字を刻んで、後世の人にメッセージを伝える物

ねらい

広島平和都市記念碑や大亜細亜悲願之碑の2つの碑文が有ることを知り、平和についてどんなメッセージが送られているか考える。

平和とはどんなものでしょう

今の日本は平和ですか

日本は75年前、アメリカ・イギリスなどと戦争をしました。どうして戦争をしたのか

日本が他の国をとろうとしたから
よくわからない



広島平和都市記念碑「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬか

もう戦争は二度としない
戦争を繰り返してはいけない
原爆で亡くなった方へ優しく接している
日本が復興をさせます。優しく接している
広島を悪い戦争をしたので、二度と戦争
をしなさい
戦争を語り継いでいくこと
戦争をした理由はわからない



ラダ・ビノード・パールは、インドの裁判官

東京裁判とは本の指導者の戦争責任を裁判するため、世界から13人の裁判官が東京に集まった中の一人

大亜細亜悲願之碑「激動し変転する歴史の中に 道一筋につらなる幾多の人たちが 万斛の思いを抱いて死んでいった。しかし、大地深く打ち込まれた 悲願は消えない 抑圧されたアジア解放のため その厳肅なる誓いにいのちを捧げた魂の上に幸あれ ああ 真理よ あなたは我が心の中に在る その啓示に従って我は進む」

まとめ

2つの碑文があることを知った。広島平和記念碑から、戦争を二度としてはならないというメッセージを受けた。

次時の課題

パール判事が送った大亜細亜悲願之碑にはどんなメッセージが込められているでしょうか

平和教育学習プリント

名前 ()

ねらい

だいあじあひがんのひ

広島平和都市記念碑や大亜細亜悲願之碑の2つの碑文が有ることを知り、平和についてどんなメッセージが送られているか考える。

※平和とはどんなことですか

※では今の日本は平和ですか。ア・・・平和である イ・・・平和でない それはなぜですか

※75年前日本はアメリカ・イギリス・フランス・中国などの連合国と戦争をし、兵隊さんだけでなく空襲や広島長崎落ちた原爆によりたくさんの民間の人もなくなくなり、敗戦国となりました。そこで聞きます。日本が戦争をしていたことを知っていますか。ア・・・知っている イ・・・よく知らない

アの知っている人に聞きます。どうして日本は戦争をしたのか。知っていますか？知っていることを書いてください。

※広島市には、75年前日本が行った太平洋戦争にかかわる記念碑が2つあります。その2つの記念碑についてアンケートします。



広島平和都市記念碑



大亜細亜悲願之碑

1 左の記念碑は広島平和公園にある広島平和都市記念碑です。書かれてある碑文は「安らかに眠って下さい 過ちは繰返ませぬから」です。この碑文を知っていますか。ア・・・知っている イ・・・知らない この記念碑に刻まれてある碑文を読んでどう思いますか。

2 右の記念碑は広島市の平和公園近くの本照寺にある大亜細亜悲願之碑です。この碑に刻まれてある文章は、インドの裁判官のパール判事が日本人におくってくれた文章です。パール判事（裁判官）とはどんな人で何のために日本に来たのか？

パール判事は、インドの裁判官で、戦争を起こした日本の指導者の罪を裁くために、東京にきた13人の裁判官の一人であった。そして、焼け野原になった広島を訪れられ、原爆・戦争で亡くなった方々とこれから生きていく日本人に向けて、大亜細亜悲願之碑というメッセージをおくられた。



ラダ・ビノード・パールは、インドの裁判官

3 パール判事がおくってくれた碑文が広島市にあることを知っていましたか。ア・・・知っている イ・・・知らない

「激動し変転する歴史の中に 道一筋につらなる幾多の人たちが 万斛の思いを抱いて死んでいった。しかし、大地深く打ち込まれた 悲願は消えない 抑圧されたアジア解放のため その厳粛なる誓いにいのちを捧げた魂の上に幸あれ ああ 真よ あなたは我が心の中に在る その啓示に従って我は進む」

- 1 日 時 令和3年 月 日（金） 第5校時
- 2 学 年 第 学年 組 名（男子 名 女子 名）
- 3 授業名 平和都市広島を探ろう
- 4 資料名 「広島平和都市記念碑と大亜細亜悲願之碑の2つの平和に関する碑文を通して、平和の尊さを考えよう（資料1・資料2）」「昭和初期の世界植民地地図」

5 主題設定の理由

（1） 学習資料について

「資料1・2」という資料は、総合的な学習の時間において平和教育を推進できるように編集した。親や祖父母などの身近な人たちからの「戦争・被爆体験」の語り伝え、すなわち「語り」による歴史の伝達は、日本の平和教育として重要な一翼を担ってきた。しかし、戦後75年を超える年月を経て、直接の戦争体験をもつ世代が年ごとに減少していくにつれ、そうした身近な人たちからの「戦争・被爆体験」の語り伝えは日々失われつつある。戦争の「語り部」の減少の中、今後の学校教育、とりわけ歴史教育を伴った平和教育の果たす役割はますます重要である。戦争が起こった事実を解明し、二度と戦争の惨禍が起こらぬよう確実に戦争の理由や記憶・記録・痕跡を語り継いでいくことが重要である。戦争がなぜ行われたのかを知り、現代の日々の平和な営みがどれだけ大切であるかを深く考えることができる資料である。

（2） 児童・生徒の実態の調査について

本資料を総合的な学習の時間の授業を行うには、直接的な戦場・戦争体験を抛り所としない現代の児童・生徒がどこまで平和という概念を理解し、興味を持っているか、調査する必要があると思う。平和に対するアンケート調査から、平和とは「みんなが仲良くしている・いじめがない」など身近な生活に視点を当てているものが多かった。広島平和都市記念碑は90%の子供たちが知っていたが、大亜細亜悲願之碑を知っている子供はいなかった。なぜ、日本は戦争をしたのか

（3） 指導にあたって

アンケート調査から平和に対する〇〇〇の児童・生徒の実態が得られた。そこで児童・生徒は平和という概念を身近な生活に置き換えて考えていることが分かった。それは友達関係や家族の幸せが平和だととらえているからである。平和は国が安定しているからだとか、近隣諸国と親密な関係から築かれるものだという意識はとても低いことが分かった。そこで指導に当たっては、パール判事の碑文を通して、先人の犠牲の上に、今の平和が築かれていることを考えさせたい。又、日本がなぜ戦争をしたのかという事実を学ばせたい。

6 本時のねらい

だいあじあひがんのひ

「広島平和都市記念碑や大亜細亜悲願之碑の2つの碑文が、後世の日本人に何を伝えているのか考えよう。」

7 準備物

- ・文章資料「パール判事が広島に送った碑文を通して、平和の尊さを考えよう」
昭和初期の世界植民地地図

8 指導計画 2時間

- 1時限目・・・広島市にある戦争に関する2つの碑文について考える。
- 2時限目・・・(本時) パール判事の石碑にはどんな思いが込められているか考える。

9 本時の展開

段階	学習活動と主要発問	★予想される児童の反応 ☆指導上の留意事項
導入	<p>※前時の学習を振り返り、広島平和都市記念碑を読む。 「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」 ・前時で考えたことを発表しましょう。</p> <p>※本時のねらいをつかむ 「大亜細亜悲願之碑のが、後世の日本人に何を伝えているのか考え、パール判事の思いを想像しよう。」</p> <p>※資料2の大亜細亜悲願之碑を読む。 「激動し変転する歴史の中に 道一筋につらなる幾多の人たちが万斛の思いを抱いて死んでいった。しかし、大地深く打ち込まれた悲願は消えない 抑圧されたアジア解放のため その厳粛なる誓いにいのちを捧げた魂の上に幸あれ ああ 真よ あなたは我が心の中に在る その啓示に従って我は進む」</p>	<p>☆もう一つの碑の存在を知らせ、本時のねらいをとらえさせる。</p> <p>☆広島平和都市記念碑に書かれてある碑文の意味を十分にとらえさせる。</p> <p>☆教師が範読していく。</p> <p>☆大変難し文字が書かれてあるので、一つ一つ意味を説明していく。</p>
展開	<p>※「激動し変転する歴史の中」とはどんな世の中だったのか考える。 ・昭和初期の世界植民地地図を見て、昭和初期の世界の様子をどんな様子ででしょうか。 ・植民地になっている国の人々の暮らしはどんな状態なのでしょう。</p> <p>・もし、自分の国がそうなっていたら、どんな気持ちになりますか。</p> <p>※アジアやアフリカが植民地になっているとき、日本がしたことをパール判事の碑文から考える。 ・パール判事の碑文から、日本は何をしたと書いてありますか。</p> <p>※「抑圧されたアジア解放のため」という碑文の意味を詳しく、考える。 ・抑圧されたアジア解放という言葉はどんなことを言っているのですか。</p> <p>※戦争をした日本人はどうなったのか碑文から考える。 ・戦争をした日本人はどうなったのでしょうか。</p> <p>※アジアやアフリカはその後、どうなったのか考える。 ・アジアやアフリカはその後どうなったと思いますか。</p>	<p>☆資料「昭和初期の世界植民地地図」を見て考えさせる。 ☆植民地になっている国の様子を考えさせる。</p> <p>★アジア・アフリカがアメリカやヨーロッパの国に取られている</p> <p>☆19世紀末以降、東南アジア・アフリカ大陸のほぼ全土が、ヨーロッパ列強によって植民地化された。インドは、イギリスに支配されていた。植民地では白人が現地の人々から土地を奪い、低賃金で働かせ、税金を徴収するような搾取が行われていたことを知らせる。</p> <p>☆その人たちの気持ちを考えさす。 ☆同じアジアの人々のほとんどが植民地になっていることを考えさす。</p> <p>☆碑文から、考えさせる。 ★抑圧されたアジア解放のため、戦争をした。</p> <p>★アメリカやヨーロッパの国々から独立。</p> <p>☆「幾多の人たちが 万斛の思いを抱いて死んでいった。」という碑文から考えさせる。 ☆その厳粛なる誓いにいのちを捧げた魂の上に幸あれという碑文から考えさせる。</p>
終末	<p>※資3を読み、大亜細亜悲願之碑が何を後世に伝えているのかまとめる。 ・パール判事はどんなことを日本人に伝えたかったのでしょうか。</p>	<p>☆インドを列強から救ってくれた日本人への思いを考えさせる。</p>



ねらい

広島平和都市記念碑「安らかに眠つて下さいませぬから」

・日本が悪い戦争をしたので、二度と戦争をしない戦争を語り継いでいくこと
・戦争をした理由はわからない

パール判事が送った大亜細亜悲願之碑にはどんなメッセージが込められているでしょうか



ラダ・ビノード・パールは、インドの法学者裁判官



大亜細亜悲願之碑「激動し変転する歴史の中に 道一筋につらなる幾多の人たちが万斛の思いを抱いて死んでいった。しかし、大地深く打ち込まれた 悲願は消えない抑圧されたアジア解放のため その厳肅なる誓いにいのちを捧げた魂の上に幸あれ ああ 真理よ あなたは我が心の中に在る その啓示に従って我は進む」

1 「激動し変転する歴史の中」とはどんな世の中だったのでしょうか。資料2「昭和初期の世界植民地地図」を見て考えましょう。

2 植民地の人々の暮らし？

3 「抑圧されたアジア解放のため」戦争をした。

4 「道一筋につらなる幾多の人たちが万斛の思いを抱いて死んでいった。」その厳肅なる誓いにいのちを捧げた魂の上に幸あれ

5 アジアやアフリカはどうなったのだろうか

資料1を読み、大亜細亜悲願之碑が何を後世に伝えているのかまとめる。

資和世地 初料 植期 昭
画地界 像図 提 民の 昭

まとめ 6

イギリスに植民地にされていたインドのパール判事にとって、日本が行った戦争はアジアを列強の植民地から解放し、国を守るという自衛的側面があったことを後世に伝えていきます。その後、日本に勇気づけられたアジア・アフリカの国々は、独立戦争を起し、インドはイギリスの100年余りに上る植民地支配を脱し、独立を勝ち取りました。

平和教育学習プリント

名前 ()

めあて「パール判事が送った大亜細亜悲願之碑にはどんなメッセージが込められているでしょうか」



ラダ・ビノード・パール
は、インドの裁判官

「激動し変転する歴史の中に 道一筋につらなる幾多(いくた)の人たちが 万斛(ばんこく)の思いを抱いて死んでいった。しかし、大地深く打ち込まれた 悲願は消えない 抑圧されたアジア解放のため その厳肅(げんしゆく)なる誓いにいのちを捧げた魂の上に幸あれ ああ 真理よ あなたは我が心の中に在る その啓示(けいじ)に従って我は進む」



1 「激動し変転する歴史の中」とはどんな世の中だったのでしょうか。資料2「昭和初期の世界植民地地図」を見て考えましょう。

2 植民地の人々の暮らしはどんなだったのでしょうか。

3 アジアやアフリカが植民地になっているとき、日本がしたことをパール判事の碑文から考えましょう。

4 「抑圧されたアジア解放」をめざした日本人はどうなったのですか。

5 その後、アジアやアフリカの国々はどうなったと思いますか。

6 まとめ 資料1を読み、パール判事は日本人に何を伝えたのでしょうか。